

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成25年1月17日(2013.1.17)

【公開番号】特開2011-110313(P2011-110313A)

【公開日】平成23年6月9日(2011.6.9)

【年通号数】公開・登録公報2011-023

【出願番号】特願2009-271137(P2009-271137)

【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 5/04 5 1 2 D

【手続補正書】

【提出日】平成24年11月26日(2012.11.26)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

複数種の絵柄を循環表示させる複数の循環表示手段と、
前記各循環表示手段による前記絵柄の循環表示を開始させるべく操作される開始操作手段と、
役の抽選を行う抽選手段と、
前記絵柄の循環表示を個別に停止させるべく操作される複数の停止操作手段と、
前記役の抽選に当選した当選役と対応する当選絵柄が有効位置に停止した場合、遊技者に特典を付与する特典付与手段と
を備えた遊技機において、
特定演出を実行可能な特定演出実行手段と、
前記特定演出が実行されたことに基づいて、前記特定演出を再度実行させる特定演出再実行手段と
を備えたことを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

前記特定演出の開始契機を決定するとともに、前記各循環表示手段の全てが前記絵柄の循環表示を行っている初期状況と、前記各循環表示手段のいずれかが停止する第 1 停止状況と、前記各循環表示手段の複数が停止する第 2 停止状況と、前記各循環表示手段の全てが停止する第 3 停止状況と、のうち少なくとも 2 つを前記開始契機として決定可能な開始契機決定手段と、前記開始契機となったか否かを判定する判定手段と、前記開始契機決定手段の決定した開始契機となった場合に前記特定演出を開始させる特定演出開始手段と、前記開始契機決定手段の決定した開始契機となった場合に、前記開始操作手段と前記各停止操作手段とのうちいずれが操作されたかを把握する操作把握手段と、前記操作把握手段の把握結果を記憶する把握結果記憶手段と、前記開始契機決定手段の決定した開始契機となった後に遊技者による特定操作がなされたか否かを判定する特定操作判定手段と、を備え、前記特定演出再実行手段は、前記特定操作判定手段が前記特定操作がなされたと判定した場合、前記特定演出を再度実行させることを特徴とする請求項 1 に記載の遊技機。

【請求項 3】

前記特定演出再実行手段は、前記各循環表示手段のうち少なくとも 1 つが前記絵柄の循環表示を行っている最中に前記特定演出を再度実行させることが可能であることを特徴と

する請求項 1 又は請求項 2 に記載の遊技機。

【請求項 4】

前記特定演出実行手段は、前記特定演出を含むとともに遊技の進行に伴って進行する補助演出を実行可能な構成であって、前記補助演出を実行している最中に前記特定演出再実行手段が前記特定演出を再実行させる場合、前記補助演出と前記特定演出を共に実行することを特徴とする請求項 1 乃至請求項 3 のいずれかに記載の遊技機。